

日時	平成29年10月4日(水) 15:30~16:45				
部会名	鑑賞部会			主任	曳田 裕子(白幡小)
参加数	8名	司会	山田 万里(大岡小)	記録	栃原 みわ (荏田東第一小)

## 鑑賞部会テーマ

音楽のよさや面白さ、美しさを自ら感じ取り、聴き味わう鑑賞活動

## 研究仮説

子どもの実態や教材分析をもとに学習展開を工夫することにより、子ども自らが音楽の面白さ、美しさを感じ取り、聴く喜びを感じ取ることができる。

## (研究内容)

○実践提案Ⅱ(授業研事前実践) 提案者:南部 麻実先生(山元小)

## &lt;授業までの経緯&gt;

歌詞の意味や語感に慣れ親しみ、意欲が高まるように、音読の宿題を「待ちぼうけ」に設定した。

第1時 ◎目標 「待ちぼうけ」を聴き、楽曲の特徴を感じ取る。

- ・初めて聴いたときの反応が、「音読と違う。」であった。  
→言葉の感じと旋律が一体となっていると進めたい。

第2時 ◎目標 表現の工夫と曲想の変化を結びつけてとらえ、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く。

- ・子どもたちの反はよく、歌詞や旋律に興味を示しているようだった。
- ・表現の工夫について、気づきの共有が足りなかった。
- ・ふりかえりがうまく書けなかった。

## &lt;課題&gt;

- ・本時のねらいを、いつどのように示すか。
- ・子どもの主体性をそがず、かつ本時のねらいにせまることのできる効果的な発問。
- ・子どもの発言から、音楽で確かめるタイミング、回数。
- ・音源の調。
- ・構造的な板書。
- ・学習カードの内容。

○実践提案Ⅲ(授業研事前実践) 提案者:澤 由美(日吉南小)

## &lt;授業までの経緯&gt;

「からたちの花」に関連して、音読の宿題を「待ちぼうけ」に設定した。

第1時 ◎目標 「待ちぼうけ」を聴き、楽曲の特徴を感じ取る。

- ・山田耕筰と北原白秋の関係や曲作りについて知り、興味をもつ。
- ・七五調、物語になっていることなど、国語科で学習していたこともあり、気付くことができたが、旋律と言葉が合っていることは、あまり感じられなかった。
- ・平野版CDを聴いて言葉とリズムが合っていると感じ取った。
- ・音源2種類。子どもたちは楽しんでた。

第2時 ◎目標 表現の工夫と曲想の変化を結びつけてとらえ、楽曲の特徴や演奏のよさを理解して聴く。

- ・学習形態 自力解決→グループ学習（共有）→全体の流れ
- ・強弱や速さの工夫には気付くが、その効果やよさ（伝わってくる様子や思い）と結び付けられない。

<課題>

- ・声の感じにも触れたかったが、速さと強弱について共有するまでしかなかった。（第2時）
- ・知覚と感受の結びつき 表現の工夫の効果やよさ（伝わってくる様子や思い）の感じ取り。
- ・時間配分（1時間ごとの。1時から2時のつながり）
- ・板書 学習カード。
- ・グループ学習では、iPadを活用し音楽で確かめるとよい。

○12月 研究授業の指導案構想 2つの実践提案もとに話し合い

- ・教材性や魅力・・・ 表現のよさから曲のよさへもっていくとよいのではないか。  
待ちぼうけの「物語」 面白さ  
言葉と旋律が結びついていること 抑揚よりはリズムに子どもが気付きやすい。 →読んで→聴いて→歌って 確かめる。  
楽譜の旋律の動き 上下の動きがわかる図形楽譜にしたらどうか。  
言葉を線でつなぐのはどうか。  
十分に音読して、親しんでおくことも大事。  
学習への動機付け、必要感・・・自分の表現に生かしたいという思い
- ・「待ちぼうけ」2時間扱い・・・ 曲のよさを求めていくというねらいを2時間貫く。  
表現のよさから曲のよさへもっていくため、第1時から、どうアプローチすべきか。  
時間配分 聴き深め ふりかえりの時間の確保
- ・発問・・・子どもの主体性をそがず、かつ本時のねらいにせまることのできる効果的な発問
- ・学習カード・・・ 今回の2つの学習カードをもとに検討
- ・構造的な板書
- ・国語科「からたちの花」との関連

○次回（11月）は、研究授業の指導案検討（模擬授業を通して）